

母性看護援助論

単位数（時間数）：2 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：教授・橋本美幸

科目担当者（職位・氏名）：教授・江守陽子

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢

看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：71

■ 授業概要

母性看護学概論の内容の理解を踏まえ、妊娠・分娩・産褥期の女性および胎児・新生児の健康や成長・発達を促すために看護専門職として必要な看護とその方法について教授する。さらに、ハイリスク・異常妊娠・分娩・産褥など特別な状態にある対象のニーズの理解とともに、ケア・スピリットに則った看護とその方法を教授する。

■ 到達目標

1. 妊娠期にある対象の心身の変化とその看護について説明できる。
2. 胎児の成長・発達について説明できる。
3. 妊娠期にある対象の健康課題について説明できる。
4. 分娩の機序について説明できる。
5. 分娩期にある対象の心身の変化とその看護について説明できる。
6. 分娩期にある対象の健康課題について説明できる。
7. 産褥期にある対象の心身の変化とその看護について説明できる。
8. 産褥期にある対象の健康課題について説明できる。
9. 新生児の胎外生活適応状況とその看護について説明できる。
10. 新生児の健康・発達課題について説明できる。
11. 育児期にある対象の看護課題とその看護方法について理解できる。

■ 教育内容

母性看護学、個人・家族・集団・組織の支援

■ キーワード

妊娠期の看護、分娩期の看護、産褥期の看護、新生児期の看護、育児期の健康課題

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	妊婦の生理 妊婦の看護	妊娠のメカニズム 胎児の成長・発達 母体の身体的変化、心理的变化	江守
2	妊婦と胎児のアセスメント	ハイリスク妊娠 妊婦健康診査・健診項目 妊婦と胎児のアセスメント	江守
3	妊婦と家族の看護 セルフケアマネジメント 出産と子育ての準備	妊婦の看護・看護方法 妊娠中のマイナートラブル 親となる支援 出産と育児の準備	江守
4	妊娠期の異常と看護	異所性妊娠 妊娠持続期間の異常 妊娠に伴う異常 多胎 妊娠期の感染症 合併症を有する妊婦 羊水量の異常 胎児機能不全 合併症を有する妊娠と看護	江守
5	分娩の生理 産婦のアセスメントと看護	分娩の生理 分娩の三要素 分娩経過のアセスメント 産婦と胎児のアセスメント	江守
6	産婦のニーズと看護	出産体験の評価 産婦と家族の心理 産婦のニーズと看護	江守
7	分娩の異常と看護	産道の異常 娩出力の異常 胎児の異常（胎位、胎勢、発育） 胎児付属物の異常 分娩時異常出血 分娩誘発・促進、帝王切開 正常経過を逸脱した産婦の看護	江守
8	特別な状況における妊産婦の看護 特定妊婦と児への支援	産科処置と手術の看護 ペリネイタルロスと看護 先天異常・障害を持つ児の家族のケア	江守

9	褥婦の身体的・心理的变化とアセスメント (1)	産褥期の定義 産褥期の身体的変化とアセスメント 産褥期の心理的变化とアセスメント 褥婦と家族の心理とアセスメント・看護	橋本
10	褥婦の身体的・心理的变化とアセスメント (2)	乳房の構造と機能・乳汁分泌メカニズム 母乳育児支援 親になることへの看護 褥婦の日常生活とセルフケア・看護	橋本
11	産褥期の異常と看護	産褥期の出血・血栓症 産褥期感染症 乳頭・乳房のトラブル 産褥精神障害	橋本
12	新生児の生理	新生児の生理 子宮外環境への適応のアセスメント	橋本
13	新生児のアセスメントと看護	出生直後のアセスメント 出生後 24 時間以内のアセスメント 出生後 24 時間以降のアセスメント	橋本
14	新生児の異常と看護	出生直後の異常・看護 出生後 24 時間以降の異常・看護 早産児・低出生体重児・先天異常児の看護 NICU の看護	橋本
15	子育て期にある親への看護と支援	周産期医療体制 母子保健法に関する施策と子育て期支援 外国人妊産婦・災害時の妊産婦への支援	橋本

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

筆記試験 80%、課題学習・リポート 20%の総合評価

ただし、筆記試験は 60 点以上（100 点満点）を合格とする。

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・リフレクションペーパーを使用して講義への疑問点や質問を受け付け、次の授業で解説を行う。
- ・期末試験は、希望者に対してフィードバックを行う。希望者は試験日以降に事前に科目責任者に連絡のうえ、研究室を訪問すること。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
母性看護学 ② 母性看護の実践
健康の回復と看護 ⑥ 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害
EX 疾患と看護 ⑨ 女性生殖器

■ 参考書・参考資料等

- ・前原澄子編（2011）『新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ』『新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ』中央法規出版
- ・綾部琢哉、板倉敦夫編（2021）『標準医学 標準産科婦人科学 第5版』医学書院
- ・仁志田博司他編（2018）『新生児学入門 第5版』医学書院
- ・橋本武夫監訳（2003）『UNICEF/WHO 母乳育児支援ガイド』医学書院
- ・NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会編（2015）『母乳育児支援スタンダード 第2版』医学書院
- ・日本産科婦人科学会他監編（2023）『産婦人科診療ガイドラインー産科編 2023』『産婦人科診療ガイドラインー婦人科外来編 2023』日本産科婦人科学会

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業前後の学習は授業にて指示する。

■ 担当教員からのメッセージ

事前にテキストを読んだうえで講義に出席して下さい。

意欲的、自律的な学習を期待しています。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

オフィスアワーは特に定めませんが、事前に連絡の上訪問してください。

江守陽子：研究室 14、emori★iwate-uhms.ac.jp

橋本美幸：研究室 10、hashimoto★iwate-uhms.ac.jp

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の实務経験

担当教員はいずれも病院・産院・地域包括センターでの助産師および看護師業務の経験を有しています。

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

病院・産院・地域包括センターでの助産師および看護師業務の経験を活かし、母性看護学に関する専門的で実践的な講義を行っています。